



やなぎっ子

さいたま市立片柳小学校

TEL 048-683-3174

FAX 048-683-8971

<http://katayanagi-e.saitama-city.ed.jp/>

もとの姿は変らざりけり

校長 萩原 哲哉

六月の代名詞とも言える紫陽花が色づき始め、夏の訪れを告げる立葵の花が、あちこちで見られるようになりました。21日(土)夕方には、太陽の一部が書けて見える「部分日食」が見られます。天候に恵まれたら観測してみてください。(絶対に太陽を直接見てはいけません!)

唐突ですが、表題は次の歌(短歌)の下の句です。

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変らざりけり」

片柳にもゆかりの深い(片柳の常泉寺には鉄舟の書が残っています)山岡鉄舟の歌です。剣術や書に優れ、幕末から明治にかけて活躍した方で、幕末のドラマでは、江戸無血開城の場面で、西郷隆盛や勝海舟と一緒に登場します。和紙で有名な小川町の名物「忠七めし」の名付け親も鉄舟であり、その料理を提供する駅前のお店には、鉄舟の書が飾られています。

歌の意味は、「晴れの天気でも、曇りの天気でも、富士山の姿はすばらしい。自分からはどう見えていようが、富士山の姿は変わることはないのだ。」というものです。曇り空で姿が見えなくても、富士山そのものは、晴れの日の姿と全く同じ。同じ「自分」であっても、周囲の状況や心の状態によって、物事の受け止め方は違ってくるといふこと。人生ですから、よいことがある時もあれば、つらく悲しいことがおきる時もあります。だから、何が起きても、自分自身は変わらず、その出来事や事象に左右されずに、自分は自分らしく生きていこう、という戒めと、とらえています。

「富士の山」を例えば、「やなぎの子」と置き換えてみると、「晴れてよし 曇りてもよし やなぎの子 もとの姿は 変らざりけり」(元気なときも、元気がない時も、やなぎの子(が持っている素晴らしいもの)は変わらない。)という意味になります。同じように、「かたやなぎ」「我家族」「我クラス」..と置き換え考えてみると、気付かされることもあると思います。「いつも通りにいかない」「先が見通せない不安」の中でも、「もとの姿(本質)」は変わらないことを、改めて自分に言い聞かせたいと思います。

三カ月に及ぶ長期の休業が明けました。お子様の御様子はいかがでしょう。「新しい学校の生活様式」、閑散とした教室、マスク越しの対話、・・・。「緊張することはありませんよ」と言ってみても、不安な思いが、まだ子どもたちの気持ちの中にはたくさん残っていることと思います。

本校では6月末から全校児童を対象に、個人面談を行います。昨年度の学校評価で、実施を希望される御意見を多くいただいたことを受けるとともに、今回の臨時休業に伴う心配事等について、話題にさせていただきます。状況によっては、担任だけでなく、教育相談の専門職員(カウンセラー、ソーシャルワーカー、さわやか相談員)にもつなぎ、継続的な支援の一助となればと考えています。それぞれ御予定のある中と存じますが、面談時間の調整等、よろしく御協力くださいますよう、お願いいたします。